

## 第2章 各論

### 第1節

人をはぐくむ教育と  
歴史文化がかおるまち

## 1 生涯学習の推進

### (1) 政策の目標

市民が生涯を通して主体的に学習に取り組み、健康で生きがいのある生活が送れるよう生涯学習の推進を図ります。



埴生公民館

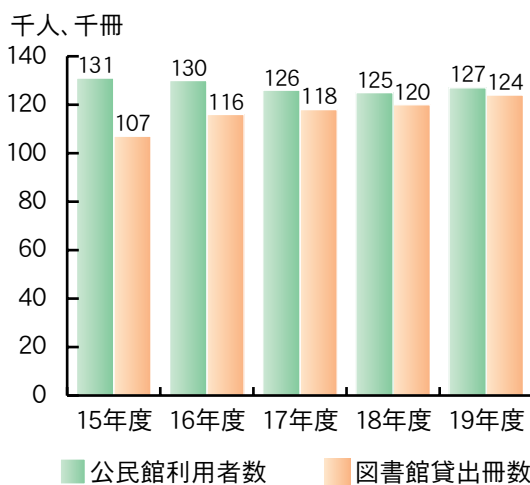
### (2) 現状と課題

- 団塊の世代が定年退職を迎えるなど、多くの市民に自主的な学習活動の場の確保や学習成果の活用場の拡充など生涯学習推進体制の充実が求められています。
- 地域住民にとって、最も身近で利用しやすい生涯学習の拠点である公民館の役割は大きく、スタッフや運営体制など公民館の充実が求められています。
- 地域、家庭の教育力向上や多様化する市民の学習ニーズなどに対応した学習機会の確保と活動に対する支援など生涯学習活動内容の充実が求められています。
- 図書館など社会教育施設の利用者は増加傾向にあり、学習情報の迅速な提供と利用しやすい環境づくりなど生涯学習環境の充実が求められています。



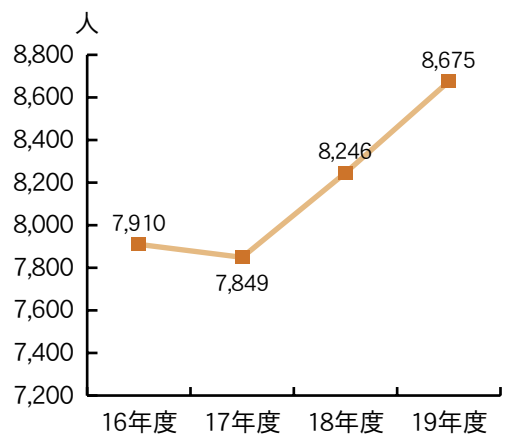
地域おやべっ子教室

公民館、図書館等利用状況の推移



(生涯学習課資料)

生涯学習講座延べ受講者数の推移



(生涯学習課資料)

## (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①生涯学習推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の多様な学習ニーズに対応した仕組みづくり</li> <li>●地域人材の発掘と活用</li> <li>●講座で得た知識や経験を活かせる機会の拡充</li> <li>●公民館における運営体制の充実</li> </ul>
②公民館の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館の計画的改修と設備の充実</li> <li>●公民館職員の育成</li> <li>●地域の特色を活かした公民館活動の推進</li> <li>●子どもたちを中心とした自然体験活動の推進</li> </ul>
③生涯学習活動内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「地域おやべっ子教室推進事業」*の充実</li> <li>◎「通学合宿」事業*の拡大</li> <li>●市民のニーズに対応した各種学級、講座の開設</li> <li>●全ての市民のライフステージに応じた学習機会の確保</li> <li>●地域への愛着心を育てる学習活動の推進</li> <li>●ホームページ、CATV*等のメディアを活用した情報の提供</li> <li>●関係行政機関との連携と広域的な情報収集及び提供</li> <li>●生涯学習活動を通じた地域間交流の推進</li> </ul>
④生涯学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合会館、勤労青少年ホーム及び石動コミュニティセンターの整備充実</li> <li>●市民図書館、おとぎの館の整備充実</li> <li>●高度情報化に対応した機器・設備の充実</li> <li>●図書館システムの構築</li> <li>●生涯学習校としての県立高等学校等の利用促進</li> </ul>

## (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 興味を持てる学習活動への参加
- 学習活動への参加をきっかけとした交流範囲の拡大

## (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
公民館利用者数	公民館利用者数 (年間)	127,003人 (平成19年度)	133,000人	魅力ある学習活動を展開するとともに、利用者に対して快適な施設管理に努め、利用者数5%増を目指す。
講座受講者数	生涯学習講座延べ 受講者数	8,675人 (平成19年度)	9,500人	魅力ある学習活動を展開し、利用者に対して快適な施設管理に努め利用者数10%増を目指す。

\* 地域おやべっ子教室推進事業：放課後や週末等に小学校の余裕教室や公民館などを活用して、子どもたち（小学生）とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を実施する。

\* 通学合宿事業：地域の大人の協力を得ながら、子どもたちが地域の公民館などで一定期間寝泊まりしながら学校に通う。

\* CATV：有線テレビ放送（ケーブル・テレビ）のこと。家庭とCATV会社を同軸ケーブル（電線の一種）あるいは光ファイバーで結んだ多チャンネル・双方向機能を有し、自主放送やインターネット接続などのサービス提供が可能である。

## 2 生涯スポーツの促進

### (1) 政策の目標

生涯スポーツ意識の高揚や少子化等の変化に対応するため、環境の整備や競技力の向上に努めます。

### (2) 現状と課題

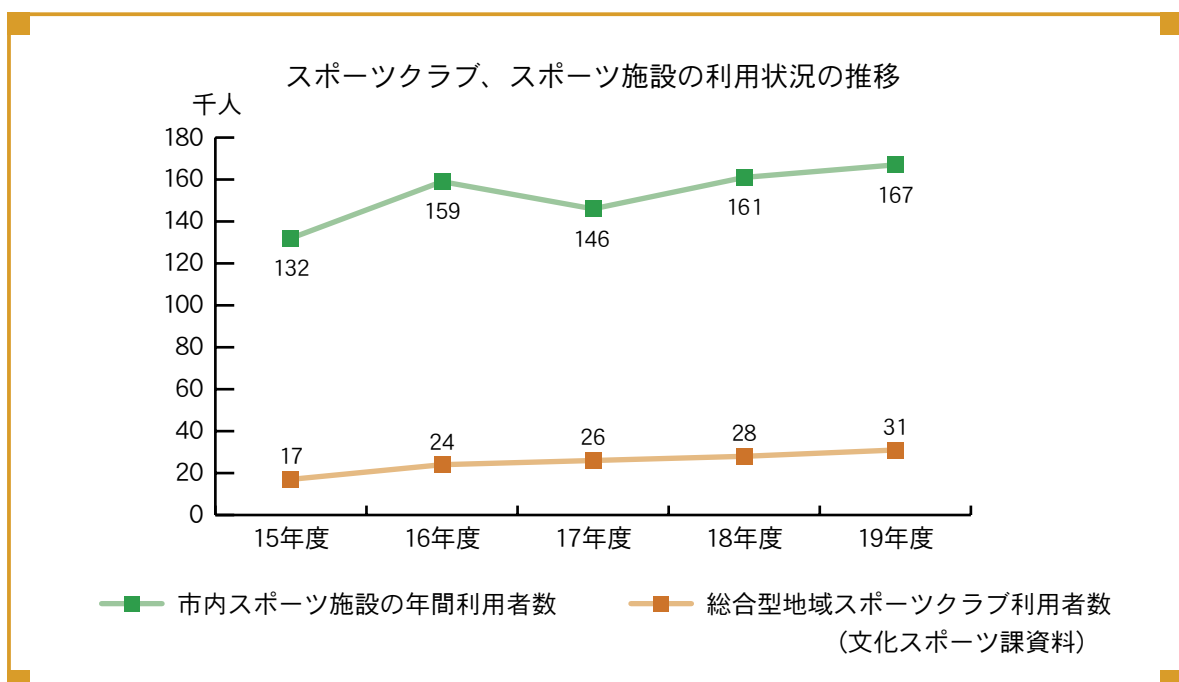
- スポーツクラブやスポーツ施設の利用人数は、増加傾向にあり、市民のスポーツに親しむ参加機会の拡大など生涯スポーツ活動の充実が求められています。
- 健康の保持や自己実現など市民のスポーツニーズは、多様化しており、ニーズに対応した生涯スポーツ施設の充実が求められています。
- 各種スポーツ大会の指導者や運営スタッフが不足するなど、スポーツ指導者の育成と指導体制の充実が求められています。



中学生ホッケー全国大会(小矢部ホッケー場)



体育指導委員チャレンジスポーツ教室



### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①生涯スポーツ活動の充実	◎年齢・体力に応じたスポーツ活動の推進 ●「生涯スポーツプラン」の見直し・推進 ●総合型地域スポーツクラブ*事業の推進 ●市体育協会の組織強化及び地区体育協会との連携強化 ●各種スポーツ団体との連携強化 ●青少年のスポーツ活動の支援強化及び競技力向上の推進 ●「地域スポーツの日」の推進 ●スポーツに関する情報提供の充実 ●全国的スポーツ大会及びイベントの誘致 ●わがまちスポーツの推進及び活動支援 ●全国スポーツ・レクリエーション祭の開催を契機としたウォーキング及びキンボール*の普及促進
②生涯スポーツ施設の充実	◎市民体育館の改修及び機能の充実 ●指定管理者制度*を活用した効果的・効率的な施設管理運営の推進 ●スポーツ施設の計画的な整備改善 ●地区運動施設の計画的な整備改善 ●市民に親しまれるウォーキングコースの整備 ●リフレッシュや健康づくりに向けたスポーツ環境の充実 ●民間スポーツ施設との連携による施設の有効活用
③指導者の育成と指導体制の充実	◎スポーツ指導者の講習及び研修機会の拡充 ●スポーツ指導者登録制度の充実及び活用 ●体育指導委員協議会への活動支援

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 週1回以上の健康増進のためのスポーツ実施
- スポーツ行事やイベント等へ積極的な参加
- スポーツボランティア活動への参加と運営への協力

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
総合型地域スポーツクラブ*の会員数	NPO*法人およびスポーツクラブの登録年度末会員数	1,926人 (平成19年度)	2,300人	総合型地域スポーツクラブ*の充実により、現会員数の2割程度の増を目指す。
市スポーツ施設の利用者数	市が所有するスポーツ施設の年間延べ利用者数	167千人 (平成19年度)	184千人	生涯スポーツの振興により、現利用者数の1割程度の増を目指す。

\*総合型地域スポーツクラブ：従来の単一種目型、一定の年齢層を対象としたスポーツクラブと異なり、複数の種目で、各年齢層が参加できる自主運営の会員制スポーツクラブのこと。

\*キンボール：直径約1.2mのボールを、一辺約20mのコートで、1チーム4人が床に落とさないようにサーブやレシーブを繰り返す新しいスポーツのこと。

\*指定管理者制度：体育館や公園などの市の「公の施設」を民間事業者を含む幅広い団体が市に代わって管理運営すること。

### 3 就学前教育の充実

#### (1) 政策の目標

乳幼児が心身ともに健全に育つよう、多様な生活体験を通して「心の教育」を重視するなど、就学前教育の内容の充実を図ります。

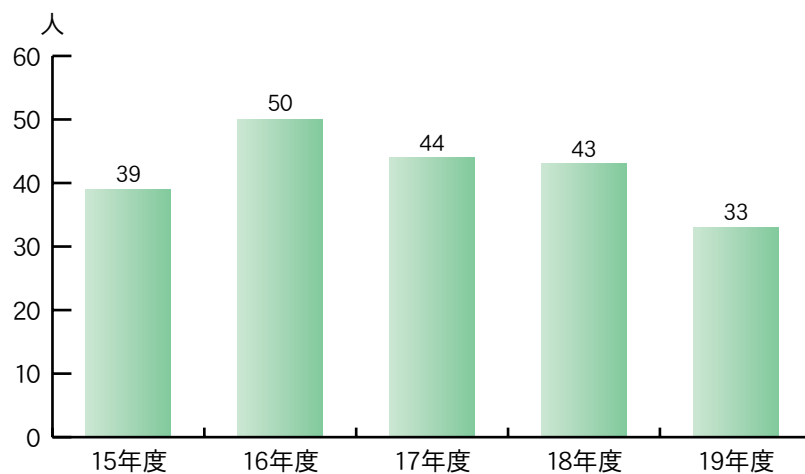
#### (2) 現状と課題

- 園児の減少が続くなか、豊かな情操、創造力や社会性などを身につける就学前教育推進体制の充実が求められています。
- 多様化する保護者のニーズに対応するため、幼児教育環境の充実が求められています。



石動幼稚園

幼稚園児数の推移



(教育総務課資料)



### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①就学前教育推進体制の充実	◎幼稚園、保育所、小学校の連携強化や研修会の開催等による幼児教育の知識と手法の共有化 ●家庭・地域社会・幼稚園・保育所における子育て支援の充実
②幼児教育環境の充実	●子ども家庭支援センターの活用と充実 ●図書館と保育所と幼稚園のネットワークシステムの構築 ●幼稚園教育施設の整備

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 子育て世代参加型地域活動
- 地域住民の異世代交流

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
幼稚園児数	在籍する幼稚園児数	43人 (平成20年5月1日現在)	45人	少子化の中ではあるが、幼稚園の教育内容の一層の充実を図ることにより、幼稚園児数の現状維持を目指す。



## 4 学校教育の充実

### (1) 政策の目標

人とのかかわりを大切にしながら、国際化、情報化等の社会変化に対応しうる、心豊かで、心身ともにたくましい児童生徒を育む教育の推進に努めます。



石動小学校

### (2) 現状と課題

- 耐震性が確保されていない学校施設があり、児童生徒の安全性を確保するなど義務教育施設の充実が求められています。
- 少子化、国際化、情報化など社会が急激に変化する中で、児童、生徒一人ひとりが能力を発揮できるよう、教育内容や教育環境の向上が求められています。

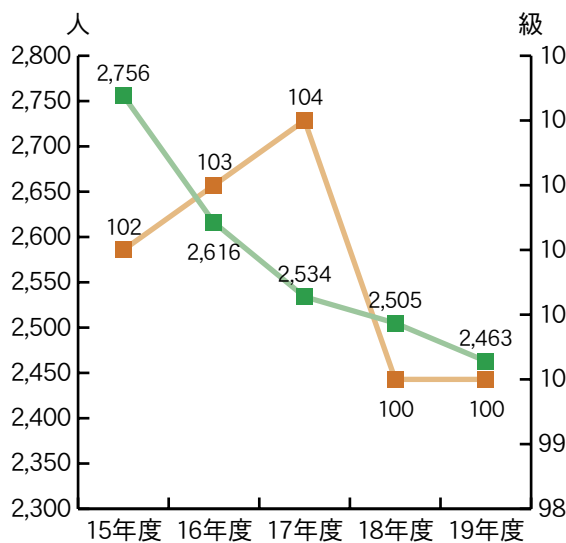


生産者との会食（学校給食）



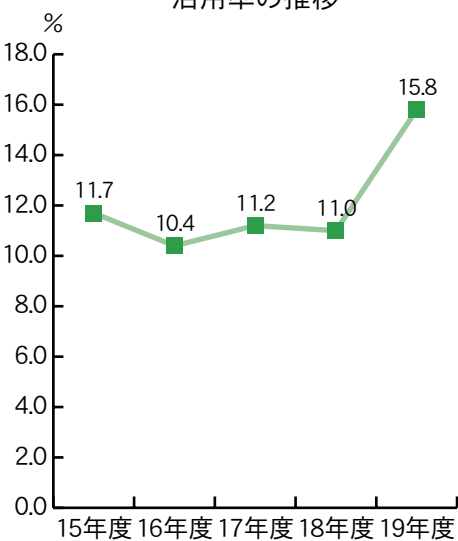
英語教育

小中学校の生徒数と学級数の推移



■ 児童生徒数 ■ 学級数 (右目盛)  
(教育総務課資料)

学校給食への地場食材の活用率の推移



(学校給食センター資料)



### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①義務教育施設の充実	◎構造耐震指標*0.3未満の学校施設の早期耐震補強の実施 ◎耐震再調査の実施に基づく石動小学校の整備 ●安全と機能を確保するための計画的な学校施設などの耐震補強の実施 ●老朽化した校舎及び設備などの計画的な大規模改修整備 ●障害児童を考慮したバリアフリー化の実施 ●時代に適応した情報機器等の整備、定期的な更新 ●学校給食施設の整備充実 ●岩尾滝小学校跡地の有効活用の継続的な検討
②義務教育内容の充実	◎情報教育など時代の要請に対応した教育内容の充実 ◎地域との連携による郷土学習や体験的学習の推進 ◎読書の推進 ●「道徳教育」や命の大切さを学ぶ「心の教育」の充実 ●地域特性を活かした創意ある教育の推進 ●心身ともに健全な人間形成を図るための部活動の推進 ●学習障害者等の在籍する学級や多人数学級への支援 ●高齢者や障害者との交流やボランティア活動への参加など福祉教育の充実 ●学校・地域・家庭の連携によるいじめ・不登校対策の推進 ●環境及び自然に親しむ教育の推進 ●地産地消を活かした学校給食の充実及び食育*の推進
③教育環境の向上	◎外部評価による学校評価システムの構築 ◎小中学校の児童・生徒、先生を対象にした相談体制の充実 ●特色ある学校づくりの推進 ●いじめなどの諸問題解決のための体制づくりの推進 ●地域との連携による安全安心な学校づくりの推進 ●学校図書の実施 ●保育所と小学校、小学校と中学校の連携強化
④高等学校・高等教育の充実	●情報化、国際化社会に対応した教育の充実 ●広域的な生涯学習校としての充実 ●中学校や地域との連携拡充
⑤就学支援の充実	●就学に必要な資金の支援拡充

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- P T A 活動、学校行事への参加等、学校への人的支援に対する協力
- 地域との連携による学校安全パトロール隊等、防犯活動への協力
- 校区在住の方を講師に招いた授業の実施等、地域との連携による学習活動への協力

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
学校給食における地場産食材使用率	学校給食における地場産食材使用率	15.8% (平成19年度)	20.0%	安全・安心な地元産食材の学校給食への提供により地産地消の増を目指す。
小中学校耐震化率	全棟数に対する耐震化の改修が不要な棟数及び改修済みの棟数の割合	13棟/22棟 59.1%	22棟/22棟 100%	耐震補強工事を必要とするすべての小中学校の耐震補強工事の完了を目指す。

\*食育：食べ物に関する知識を身につけ、「食事の自己管理能力」を養う教育。広くは、わが国の食文化の理解を含む。

## 5 青少年の健全育成

### (1) 政策の目標

青少年の健全育成と交流・体験活動の充実に取り組み、学校・家庭・地域社会が連携して教育力の向上を図ります。

### (2) 現状と課題

- 核家族化の進展や地域における連帯感の低下など、青少年を取り巻く環境が大きく変化しており、学校・家庭・地域社会が連携した健全な育成環境の整備が求められています。
- 青少年を心身ともに健康でたくましく育てるため、様々な体験活動や交流活動を行うなど青少年活動の充実が求められています。
- 学校生活や社会生活への適応が難しい青少年も見受けられるなか、様々な青少年が活動できる青少年関連施設、活動の場の充実が求められています。

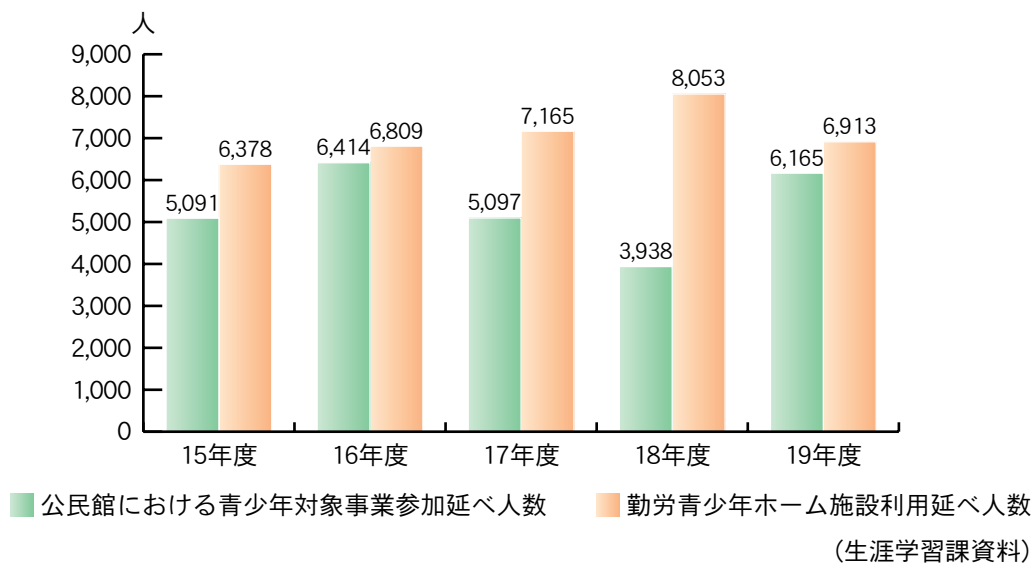


勤労青少年ホーム



講座（ストリートダンス）

青少年の活動状況の推移



### (3) 施策の方向性

施策名	施策の内容
①健全な育成環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年健全育成の体制づくりと市内巡回指導やパトロールの実施</li> <li>●青少年育成団体相互の連携強化と非行防止活動の推進</li> <li>●有害環境の浄化活動の推進</li> <li>●「とやま県民家庭の日*」の普及・啓発による明るい家庭づくりの推進</li> </ul>
②青少年活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年の社会参加機会の充実</li> <li>●青少年の「仲間づくり」と「出会いの場づくり」の支援と社会への適応力の涵養</li> <li>●青少年の興味や関心に応じた活動の促進やグループの育成強化</li> <li>●地域の祭り・行事等を通じた青少年団体や青年組織の育成と活性化の推進</li> <li>●青少年リーダー指導者の発掘及び育成</li> </ul>
③青少年関連施設、活動の場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●勤労青少年ホームの機能強化</li> <li>●青少年の活動ニーズに応じた施設整備や既存施設の有効活用</li> <li>●青少年のニーズに応じた各種講座の開設</li> </ul>

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 深夜時外出している少年への声かけ
- 日頃からの地域の子どもへの目配り
- 「朝食をとる」「夜更かしをしない」等、子供の生活環境向上への目配り
- 子供との交流・体験活動への参加促進



講座（生花）

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
公民館における青少年対象事業参加延べ人数	一年間の公民館における青少年対象事業の参加延べ人数	6,165人 (平成19年度)	6,200人	青少年人口が減少するなか、青少年対象事業を継続して実施し、参加延べ人数の現状維持を目指す。
勤労青少年ホーム利用者数	一年間の勤労青少年ホーム利用者数	6,913人 (平成19年度)	7,000人	勤労青少年ホームが青少年の活動拠点となるよう機能強化し利用者の現状維持を目指す。

\* とやま県民家庭の日：心身ともに健全な青少年を育成するために、毎月第3日曜日を「富山県民家庭の日」（愛称：とやまふれあいサンデー）とし、県民総ぐるみによる運動として推進されているもの。

## 6 芸術・文化の振興

### (1) 政策の目標

文化施設の充実と芸術文化活動を促進し、芸術にふれあえるまちづくりを目指します。

### (2) 現状と課題

- ふるさと歴史館やふるさと博物館の来場者数が減少傾向にあり、その運営方法や展示内容など文化施設の充実が求められています。
- 心の豊かさや生活の潤いが大切にされるなか、市民の芸術に親しむ機会の拡大など文化芸術活動の促進が求められています。



市美術展



芸術少年団

### 芸術・文化の状況の推移

項目	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
市美術展観覧者数	人	1,890	1,563	1,912	1,558	2,006
市美術展出展数	件	137	151	151	131	149
ふるさと歴史館の 来場者数	人	1,300	1,657	999	1,027	999
ふるさと博物館の 来場者数	人	2,221	1,059	886	1,011	1,043

(文化スポーツ課資料)

### (3) 施策の方向性

施策名	施策の内容
①文化施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化交流拠点施設としてのクロスランドおやべの機能の充実</li> <li>●市民の創作活動の場の整備</li> <li>●ミニ鉄道を活用したにぎわい創生の場としての機能の充実</li> <li>●歴史学習の拠点施設としての歴史館機能の充実</li> <li>●郷土学習の拠点施設としての博物館機能の充実</li> </ul>
②文化芸術活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市美術展等による文化芸術活動への参加及び鑑賞機会の増大</li> <li>●企画展等による本物の芸術鑑賞の機会の増大</li> <li>●芸術祭等による地元作家の作品発表機会の増大</li> <li>●芸術少年団等による感性豊かな子どもを育てる芸術活動の推進</li> <li>●クロスランドおやべの文化事業の拡充</li> </ul>

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 優れた作品を鑑賞することによる芸術文化活動への参加
- 市をはじめ各団体が主催する文化芸術事業に興味をもって参加
- 市が設けた発表の場等を利用し、積極的な芸術活動への参加
- クロスランドおやべで開催される各種イベント等への自主的な参加

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
市美術展観覧者数	市美術展の開催期間中の総観覧者数	1,786人 (平成15～19年度の5年間平均)	2,200人	美術展の内容充実により平均観覧者数の2割程度の増を目指す。





## 7 歴史遺産・文化財の保存と活用

### (1) 政策の目標

文化財にふれやすくするとともに、地域の伝統的行事へ参加しやすい体制を作り、継承につなげる心を養います。



石動曳山祭り

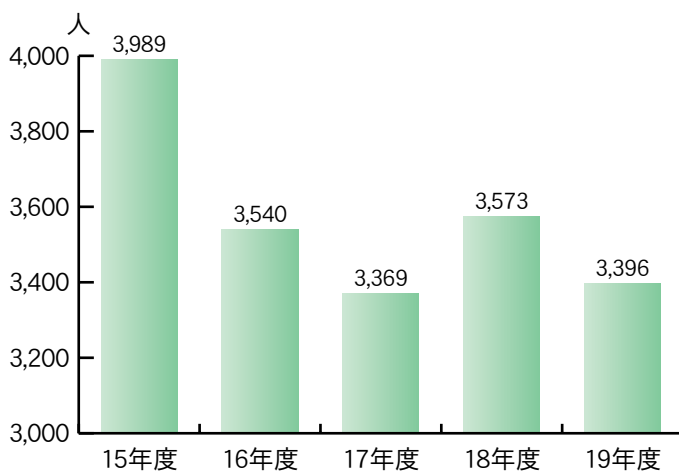
### (2) 現状と課題

- 市内には倶利伽羅源平合戦や桜町遺跡\*など多くの歴史遺産や文化財があり、これらに対する市民の意識を高めるため、文化財の保存・活用が求められています。
- 地域の祭りを支える人たちの高齢化や少子化が進んでおり、祭り・行事を後世に伝えていく郷土芸能・伝統芸能の継承と活用が求められています。



獅子舞共演会

桜町 J O M O N パーク来場者数の推移



(文化スポーツ課資料)

市内の指定文化財の件数  
(平成20年度現在)

国指定	1
県指定	14
市指定	45
合計	60

(文化スポーツ課資料)



### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①文化財の保存・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎今石動城跡の史跡整備と活用の推進</li> <li>◎重要文化財の指定に向けた取組の強化</li> <li>◎文化財の展示活用に対する支援</li> <li>●指定文化財の適正な管理・保存及び市民への周知・啓発の推進</li> <li>●貴重な文化的財産の市文化財指定に向けた調査の推進</li> <li>●指定文化財の案内板等の整備</li> <li>●文化財の保存活用を推進するボランティアへの支援</li> <li>●文化財等の保存施設の調査</li> <li>●桜町遺跡*体験学習等拠点施設の整備</li> </ul>
②郷土芸能・伝統芸能の継承と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●祭り・行事を支える人材育成のための支援</li> <li>●祭り・行事の保存継承のための活動支援</li> <li>●祭り・行事の映像等による記録保存の充実</li> <li>●インターネットやケーブルテレビ等を活用した情報発信の推進</li> </ul>

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 市やボランティア団体が主催する文化財等活用行事への参加
- 指定文化財の適正な管理保存への協力



桜町遺跡出土品

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
指定文化財数	市指定の文化財の数	45件 (平成19年度)	50件	市指定文化財候補15件のうち3割程度の指定を目指す。
伝統芸能の保存団体数	石動曳山祭り・獅子舞祭り・津沢夜高行燈祭りの保存団体数(保存会等)	109団体 (平成19年度)	109団体	石動曳山祭り(11)・獅子舞祭り(84)・津沢夜高行燈祭り(14)の保存団体数の現状維持を目指す。